



若松区藤ノ木2丁目のアルミメッキ加工会社「新興アルマー工業」の工場で9月1日に発生した爆発事故を受け、北九州市消防局は9月7日、溶解炉のある市内の全23事業所(計95施設)への一斉指導を始めた。

市消防局などによると、事故当時、現場の第1工場ではアルミニウムの溶解作業中で、漏出したアルミニウムと、付近にたまっていた水が接触し、水蒸気爆発が起きたとみられる。けが人はなかったが、同様の設備を持つ事業所に緊急指導することにした。